

第5回「小江戸大江戸 200k」2015年2月28日～3月1日

「203k 無事に完走できますように」

そっと 203 円のお賽銭を入れると、静かに手を合わせる人たちがいた。

2月28日 AM7:00、人の姿はまだまばらで、川越の街はそろそろ起き出そうかという朝の時間帯。

寒さに身を縮ませながら通りを抜けた連雀町の蓮馨寺には、ここだけ世界がパッと変わったように、講堂前広場に大勢の人が集まっていた。そのカラフルな服装が目を引き。



朝早い時間とは思えないような熱のこもった声が聞こえてくる。受付を済ませると、ランナーたちは入念な準備を始めていく。これで大丈夫か、忘れていたものはないか、栄養補給は、夜間走行のためのライトは、地図は、装備を確かめ表情を引き締めていく。



ただ、マラソンと違って、ここには楽しく緩やかな雰囲気の流れが流れていて、緊張よりもワクワク感に包まれているようだった。

「ちゃんと寝れた??」

「楽しみで眠れなかったよー！」

28日は天候に恵まれる予報だったが、1日は雨になることが確実だった。

「雨予報でなくても、どんなことが起こるか分からないからカッパは必須です。

夜の寒さ対策にウィンドブレーカーの予備もリュックに入れてあります。

夜はこれを重ね着する」

走り慣れているランナーが多いのが特徴的だった。

時間が進むごとに人の数が増え、

AM7:30 過ぎる頃になると、なんとこの時間に広場が人で埋まりました。昨年よりも多い、今年は 700 人以上の参加者となった。



今年もこの季節がやってきました。

続々と集まってくる人たちの、

「おお！おはよう！！」

「久しぶりだね！」

「今年も走るんだ！」

「今日は頑張ろうね！」

顔馴染みもたくさんいるようで、親しく声を交わし合う光景がそこかしこにあった。

朝早くから信じられない光景が広がります。



2015年2月28日(土)～3月1日(日)、ここ蓮馨寺がスタート・ゴール地点として行われたのが、「第5回小江戸大江戸200k」です。主催は小江戸大江戸トレニックワールド。



NPO法人
小江戸大江戸トレニックワールド

このマラソンのコースは全部で3コース用意。

・種目

- ①小江戸大江戸コース 203km
- ②小江戸コース 91km

③大江戸ナイトランコース 112km

・制限時間

- ①36時間
- ②14時間
- ③19時間

小江戸大江戸コースは、

小江戸川越の蓮馨寺を出発して埼玉県内を走り蓮馨寺に戻ってきて、そこから都内へ向かい、また蓮馨寺に戻ってきてゴールという総距離203kのコース。

埼玉と都内を走るから小江戸大江戸 200kです。

小江戸コースは、

小江戸大江戸と同じスタートで蓮馨寺を出発して埼玉県内を走り(熊谷まで行きます)、蓮馨寺に戻ってくる埼玉コース。

大江戸コースは、

28日の夜に蓮馨寺を出発して都内まで走り、蓮馨寺に戻ってくる都内コース。

埼玉・都内合わせて走る小江戸大江戸と、どちらかを走る二つ、全部で3コース。

・コース

①②川越蓮馨寺～荒川～押切橋～重忠橋～R140旧道～玉淀大橋～R254～唐子～R254～川越蓮馨寺

①③川越蓮馨寺～R254～熊野町交差点～環6～都庁～表参道～

六本木～東京タワー～皇居～日本橋～両国国技館～スカイツリー～

浅草寺～赤羽～笹目橋～荒川～羽根倉橋～R254(バイパス)～川越蓮馨寺

・エイドS

- ①9カ所 ②4カ所 ③4カ所

中でも注目なのはやはり、2月28日のAM8:00にスタートし、翌日1日の夜PM8:00がゴールのタイムリミットとして

200kを制限時間36時間で走る小江戸大江戸。

総参加者700人以上のうち、400人以上が小江戸大江戸の参加者です。

前回よりもエントリーが増え、

「長い距離からエントリーが埋まっていく」と話すスタッフ。



普段から各地のマラソンの大会に出場している女性も、「こんなに長い距離は初めて」と緊張した面持ち。それでもお祭りのような雰囲気を楽しそうでした。小江戸コース 91 k に挑戦します。

川越でマラソンといえば、毎年 11 月の小江戸川越マラソンがあります。川越水上公園をスタート・ゴールとして、コース途中蔵の町並みを走り抜け、市内をぐるっと駆けるマラソンは、川越市民には既にお馴染みのマラソン。

そして、川越のマラソンはそれだけではなく、実は知られざる、知る人ぞ知るウルトラマラソンが川越発で行われているのです。

それが、過酷とも言える 200 k を走る小江戸大江戸 200 k。

100 k でウルトラマラソンという括りとされる中で、

200 k という長い距離は関東でも珍しい大会。

回を重ねるごとに参加者も増え、沿道の応援も増えて、

知る人ぞ知るものから、確実に認知度が高まってきている今や川越の名物マラソンです。

黙々と走るランナーの姿を見て、「何の大会なんだろう？」と調べ、エントリーするようになった人もいます。

参加者は川越市民に限らず、

県内外各地から駆けつけたマラソン好きで走り慣れている人たち。

ゼッケンに書かれた住所地を見ると、北は北海道・南は九州、全国から集まっていました。

朝早いスタートということで、県外のランナーは前日から泊まり込みでやって来ている。

初めて参加する人も多いですが、毎回のように参加しているランナーが多いのが特徴です。



このマラソンは車道を通行止めにして走るものでなく、ずっと沿道を走ります。

距離が長いのでまとまって走るよりばらけて、自分のペース、一人旅ともいえる自分との闘いのレース。

制限時間内に蓮馨寺に戻ってくることを頭に入れながら足を進め、

一晩どころか一日半ずっと走り続け、

寝ずに夜通し走るので、みなさん寒さ対策は入念に準備していました。

また、寒さ対策と並んで大事なものは、栄養補給。

「お腹減ってから食べても遅いので、減る前にちよこちよこ体に栄養を入れていきます」



(どら焼きやジャムサンドを用意)

街灯がない道も多いので、夜はヘッドライトで照らしながらの走行。

立ち止まると疲労が一気に来るので、止まらないために眠気覚ましを摂りながらのランナーもいます。

明日のゴールは何時くらいを考えていますか？

「20 時のリミットギリギリに戻ればいいのか」

それぞれの想いを胸に
ゲート付近に人が集まり出しました。



行ってらっしゃい。楽しんできて。そして、無事に帰ってこられますように。



28日8:00、第5回小江戸大江戸200k、いよいよスタートの瞬間を迎えた。

スタートを見守る人たちも昨年より多くなっていて、川越発のウルトラマラソンの熱気を感じようと人が詰めかけていた。合図と同時にゲートを次々に飛び出していくランナーたち。元気良く、そして笑顔に溢れたスタートで、送り出す人たちは手を差し出し「行ってらっしゃい！！」と見送っていた。





蓮馨寺を出発したランナーたちがまず向かうのは、北にある一番街の札の辻交差点。

そこから右折し、市役所、市立博物館を通り過ぎ、さらに東へと進んでいく。

一足先に博物館前の通りに向かうと、ランナーたちが続々とやって来て走り去っていきます。





0.0k(総距離)川越・蓮馨寺

0.7 札の辻

3.5 伊佐沼 トイレ

6.5 工業団地入口

8.5 釘無橋 (越辺川・入間川)

12.4 圏央道高架下

12.7 平成の森公園 トイレ

公園内トイレ有

14.3 鳥羽井沼公園荒川自転車道

右手の荒川土手に上り左折(上流へ)

16.2 松永橋手前

16.8 さくら堤公園

吉見I休`

21.2 吉見総合運動公園 トイレ

エイド 左手トンネル先公園事務所 (トイレ・軽食有)

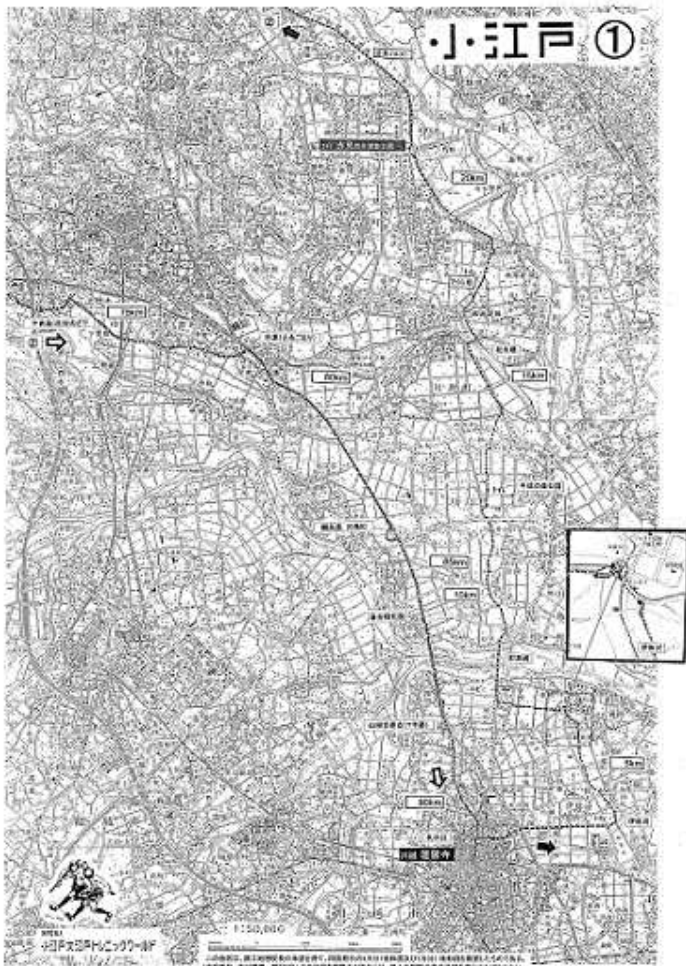
26.2 大芦橋

27.5 玉作水門

水門を右手に見て回り込み、さらに荒川上流を目指す。

28.1 熊谷市立スポーツセンター トイレ

ここから伊佐沼まで行くと今度は北上し、釘無橋を渡って川越市外へ出ていく。



小江戸コースはこの日の 22 時がタイムリミット、
小江戸大江戸は明日 1 日の 20 時です。
明日の夜のゴールには何人が戻ってくるでしょうか。
スタート

31.0 久下橋土手上三叉路の左側トンネルを走行
手島Eト

32.7 手島集会所 トイレ
Eト ☆土手より手島地区に下り左側、火の見やぐら下

33.0 手島神社
土手に戻らず舗装路にそって道なり左折

34.2 村岡（国道 407 号）
R407
交差点を右折。300m 先の荒川大橋手前の信号を左折し土手道
へ

38.5 一般道に出る
熊谷大橋の 1 km 先で土手道を下り、民家の間を上流へ道なりに
走行する

39.4 押切橋下
R47
橋の下をくぐり直進→田舎道を道なりに進む（砂利道有）

40.9 鹿島古墳トイレ
右手古墳の柵に沿って 500m 先の突き当り迄進み、農家の脇を走
行

43.9 植松橋下
左手の学校を左折せず、砂利道を直進し植松橋の下をくぐる

45.5 重忠橋（北）
旧 R140
荒川を渡ると左手にファミリー・マート有、旧 R140 を左折

46.8 黒田
R140 へEト
バイパス R140 を左折

47.8 関越道・花園 IC 入口
R140 へEト

50.9 玉淀大橋北
R254
R140 から R254 へ左折し、荒川を渡る(東松山・川越方面へ)
浄恩寺Eト

51.8 浄恩寺 トレ
Eト R254 からの側道（コンビニの信号 1 0 0 m 先）へ入って踏
切手前のお寺
（左側）側道右側からはトンネルをくぐる。

52.6 露梨子（ツリナ）
踏切を渡り左折→露梨子交差点にて左折し R254 に出る

56.8 金勝山トンネル 手前
R254
二又、直進してトンネルに入り池袋・川越方面へ（トンネル内右側走
行）

60.7 みどりヶ丘歩道橋
R254
歩道橋を渡る（ヤオコー・ガストあり）→嵐山溪谷入口→
国立女性教育会館を過ぎて二つ目の信号右折(上唐子北)

69.1 上唐子(カゴ)（北）
R254
上唐子北交差点を右折、ここで曲がらないとEトにいけません。

70.4 上唐子（東）

旧 R254→R344

正面にラーメン屋(拓見)があるY字交差点を右に進む ☆地

図②

72.0 唐子中央公園 トル

73.3 石橋集落農業センター

東松山市石橋 515

エイド R254 の左手 90m 奥、定宗寺左隣り エイドを出て左折-道なりに進み R344 に出て左折

74.0 関越道高架下

R344

74.8 下青鳥(木ノリ) (北)

R344→R345

ト交差点を右折（間違っ直進し R254 に出ると危険）→東武東上線踏切を渡る→古凍

78.9 古凍(カガリ)

R254

交差点を右折 R254 に出る（右側走行）

83.6 川島 IC

R254

圏央道・川島 IC（側道に沿って IC を抜けて R254 に戻る）

86.0 落合橋北詰

R254

橋の左側を渡る（右側は一部歩道無く危険）→橋を渡ったら再度右側走行→

歩道橋のある山田交差点へ

88.4 山田（Y 字路）

R254→川越市街

91.3 蓮馨寺エイト

小江戸大江戸トレニックワールドは、

これまでも走るを楽しむ大会を企画してきました。

2014 年 12 月 7 日「第 3 回 coedo kawagoe 6 時間走 & Fun Run 2 時間走」

「9 月 7 日第 3 回トレニックワールド in 越生」

「8 月 30 日第 2 回世界文化遺産“富士山”山麓一周フットレース」

「7 月 13 日第 1 回飯能・越生トレイルラン 40 km & 30 km」

「5 月 18 日第 2 回外秩父トレイルラン 43」

そして、この小江戸大江戸 200k は人気の大会だけあって、

2014 年 10 月にはすでに受付終了。

5 回に渡って開催された試走会の一つ、

「大江戸コース試走会③」は、2014 年 11 月に行われ、本番に備え周到な準備が行われてきました。

ちなみに、NPO 法人小江戸大江戸トレニックワールドの会員である大島康寿さんと青谷瑞紀さんが、

4 月 11 日～12 日にイタリア・トリノで開催される

「2015 I A U 2 4 時間走世界選手権」の日本代表に選出されました。

また、別団体ですが、

「雁坂峠越え秩父往還 142km」というマラソンが 2014 年 9 月に開催され、

コースは甲府をスタート地点として雁坂峠を越え、ゴールが明け方の川越となっていました。

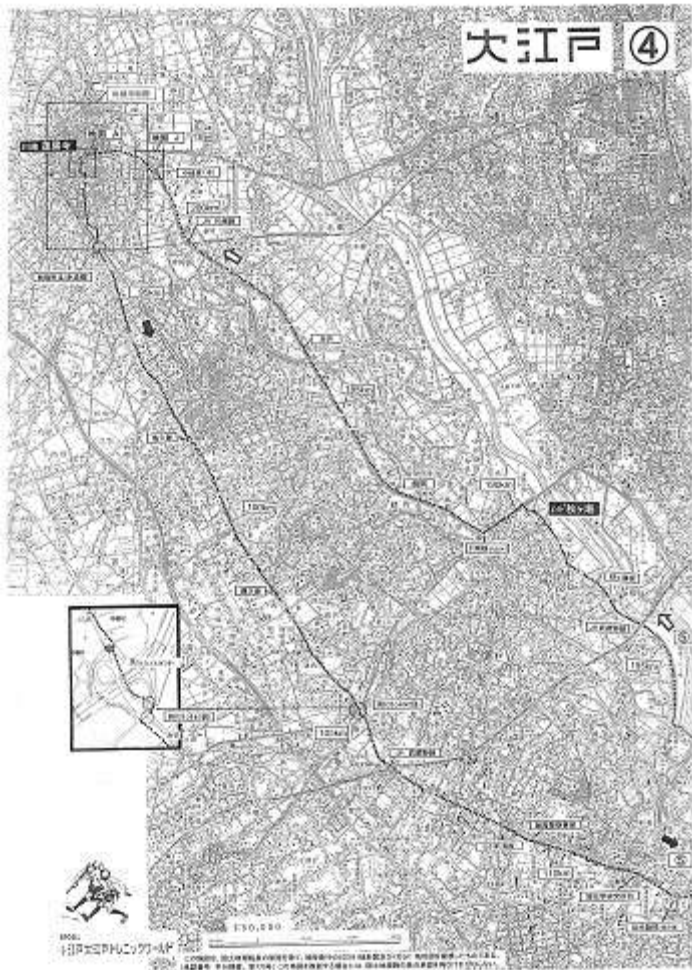
小江戸コース、朝、初めてウルトラマラソンに参加すると話していた女性は、見事に 28 日夜にゴール。

「ひと晩明けましたが、小江戸大江戸無事に完走長くて果てしなかった。もう一生続くんじゃないかぐらいつらかった。

ゴールしたときは感激よりなにより、やっと終わった解放感だけでいっぱいだった。

でもまさか自分が 91 キロ走りきれるなんて思ってなくて、ゴールしてからずっと夢のなかにいるみたいで、まだ信じられない気持ち。なにもかもができると思ってできるわけじゃないけど、なんだってまずはやろうと思わないとできないんだってことがよくわかった。いろんなひとに助けもらった 1 日だった。みなさんほんとにありがとうそしてまだ走り続けてる 203K のみなさん、ファイト」

長い距離を走るというのは、ちょっとしたトラブル、例えば足に豆ができたことで体のあちこちに負担が掛かってしまい、大きなトラブルにつながってしまうもの。ここから夜、28 日 22:00、大江戸ナイトランのスタートとなり、また、小江戸を走ってきた小江戸大江戸のランナーは、大江戸コースを走っていく。254 号線を南に下って都内に出、そして 254 号バイパスを北上して行くルートです。



大江戸スタート 22 : 00

蓮馨寺前浪漫通りスタート→湯遊ラント正面入口前→大通りで左折(信号なし)→新富町郵便局で右折。

(上が小江戸大江戸、下が大江戸ナイトランの総距離)

93.6k

2.2k 新宿(アラク)町北交差点

R254 (川越街道)

左側、交差点手前に側道有。歩道橋へ上がって直進 ▲英 IC 迄の道はつまずきやすいので転倒に注意する。川越街道ライト必携

104.7

13.3 英 (はなぶさ) IC

R254・R463 の IC

左側→中央の分離帯→トンネルを 2 回ぐる (直進、右折) →左の階段を上る→R254 の右側の歩道に出る

106.3

14.9JR 武蔵野線

R254

JR の高架をぐり、歩道橋を渡る

109.0

17.6【なか卯】朝霞

R254

朝霞店：坂道を下ると右側 ミリオン 1 1 0 0 (パチンコ) 1F

111.9

20.5 理化学研究所西門

R254

外環和光入口

112.9

21.5 和光陸橋

R254

車両 (左折可) 交差点 ▲川越方面からの大型車による巻き込み事故多発地点。走行注意！

114.1

22.7【なか卯】成増

R254

成増駅前店：右側

120.7

29.3 大山商店街出入口

R254

人通り多し 接触事故に注意！

122.1

30.7 熊野町（首都高速）

R254→山手通

山手通との交差点を右折 首都高速の脇を走行

126.6

35.2JR 東中野

山手通(環六)

JR（東中野駅）上の桜川橋はタイル仕上げ ▲朝方の凍結に注意！

127.6

36.2 中野坂上

山手通(環六)

青梅街道（R4）との交差点 成願寺エイドは500m先右側
成願寺E10

128.0

36.6 成願寺

中野区本町 2-26-2

E10朝7：00まで 右側、大きな竹垣のあるお寺、山門から入ること（トイレ有）

128.5

37.1 清水橋

山手通→方南通

E10から500m先の清水橋交差点を左折→都庁北交差点右折
都庁CP

129.8

38.4 東京都庁

CP 都庁第一庁舎正面玄関前の石の大きな表札（約3m幅）を撮る。

東京マラソンスタート地点付近です→山手通

132.6

41.2 富ヶ谷

井の頭通（R413）

エレベーターのある交差点。山手通→井の頭通へ左折→代々木公園→明治神宮→原宿駅

134.0

42.6JR 原宿駅

R413

原宿駅→表参道（左側走行） ▲人通り多し、通行注意

135.0

43.7M 表参道

R413→青山通

M 表参道駅入口・交番あり→表参道交差点左折（青山通）→早めに右側走行

135.6

44.2 南青山3丁目

→外苑西通右折→左手は青山霊園→西麻布交差点 ▲坂をスピードを出して下る自転車に注意

136.9

45.6 西麻布

→R412

首都高下の交差点を渡ってから左折し右側走行→500m先マクドナルドと上島珈琲店に挟まれた交差点を右折 ☆地図C
六本木CP

137.5

46.1 グランドハイアット

→けやき坂通

CP ホテル前広場の大きな石のオブジェを撮り左折→けやき坂通→

左手はテレビ朝日、

大きな通り(R319 外苑東通)を右折

139.3

47.9 赤羽橋

R319→R301

左手にGS (ENEOS) あり。

GSの右の道へ左折→東京タワー前交差点(交番あり)を左折し坂を上る

東京タワー CP

139.8

48.4 東京タワー

CP 東京タワー下のオブジェ(ノッポン兄弟)を写真に撮る ☆地図D

142.1

50.7 祝田橋

R301

来た道を戻り左折→芝公園3丁目左折→歩道橋を渡る→日比谷公園→祝田橋→皇居 ☆地図8

143.7

52.3 気象庁前

R301(内堀通)

二重橋前→大手門→気象庁前(M竹橋)→内堀通から右折→

高架をくぐり錦町河岸交差点を渡り左折

こあしすI付

144.1

52.7 こあしす接骨院

神田錦町 3-7-2

Eイド:朝10:00まで 錦町河岸から100m→最初の路地を右折、角から2軒目左側

145.7

54.3 千鳥ヶ淵

R301(内堀通)

Eイド→一ツ橋河岸左折→平川門右折→皇居(反時計回り)→竹橋→千鳥ヶ淵

◎必ず皇居を一周すること。

148.0

56.6 日比谷

日比谷通

半蔵門→桜田門(警視庁)→祝田橋→日比谷。お濠に沿って左折

148.8

57.4 和田倉門

馬場先門→和田倉門右折

149.2

57.8 東京駅

東京駅(丸の内北口)左折→ガード脇→ガード下を右折し日本橋へ

150.1

58.7 日本橋

永代通

左折。M日本橋駅入り口あり

150.3

58.9 日本橋道路元標

中央通(R17)

高速をくぐり橋の脇(左側)に、日本の道の基準点あり→三越

150.8

59.4 室町3丁目

江戸通(R6)

右折→小伝馬町→馬喰(バク)町→浅草橋交差点

152.1

60.7 浅草橋

京葉通 (R14)

右折→京葉道路(R14)→両国橋

152.8

61.4 両国 2 丁目 (回向院)

国技館通

左折→両国駅 道脇に力士像があります

153.0

61.6JR 両国駅

両国駅→国技館→次の信号右折→道なりに左カーブ

153.5

62.1 旧安田庭園前

→旧安田庭園前直進→蔵前橋通り右折→石原 1 丁目

153.8

62.4 石原 1 丁目

蔵前橋通 (R315)

角に交番あり→三ツ目通 (R319) →親水公園→大平 2 丁目交
差点

155.1

63.7 大平 2 丁目

夕べ通り

左折しスカイツリーを見ながら夕べ通りを進む→突き当り浅草通り

右折→300m 先右

156.0

64.8 おしなり君の家

156.6

65.2 東京スカイツリー駅

ツリー下→言問通

イトから浅草通りを渡り→スカイツリーの下で左折→川沿い→スカイツリー
駅(▲人通り多し、接触到注意)→言問(イトイ)橋

157.9

66.5 浅草寺病院

言問通 (319)

言問橋→馬道→浅草寺病院の角左折→境内へ ☆地図 G②

「境内は心静かに歩きましょう！」

浅草寺 CP

158.2

66.8 浅草寺本堂

CP 本堂を写真に撮る。

本堂→仲見世→伝法院通右折→浅草公会堂を左折→雷門通右
折

158.9

67.5 雷門 1 丁目

国際通 (462)

T 字交差点左折 (正面に交番・ファミマあり) →寿 3 丁目 (春日通)

右折→御徒町駅

160.9

69.6 御徒町駅

春日通 (453)

JR 御徒町 (おかちまち) 駅: 高架下は非常に狭いので、
他の歩行者・自転車等に気を付けること。→湯島天神入口

162.3

70.9M 本郷 3 丁目

春日通 (453)

本郷 3 丁目右折→本郷通 (R17) →東大赤門前

162.6

71.2 東大赤門前

本郷通（17）

165.8

74.4JR 駒込駅

（R455）

駅→西ヶ原（交番あり）左側にある旧古河庭園沿いにT字路左折

→M 西ヶ原→

飛鳥山博物館（右側）→明治通（122）→音無橋

168.1

76.7JR 王子駅

明治通→北本通

音無橋で右折（直進すると危険）→JR 高架下（王子駅）をくぐり

左折、

北本通へ→北とびあ前→宮堀交差点・神谷陸橋（環七通）

170.0

78.6 宮堀(神谷陸橋)

環七（318）

宮堀交差点を左折→JR 高架下（新幹線）→次の交差点（馬坂

歩道橋）右折→

JR 高架下（埼京線）→赤羽駅

172.3

80.9 赤羽西口【なか卯】

パルロード3

駅前広場左折→イトーヨーカドー→トンネル脇の階段を上がる

【なか卯】赤羽西口店：赤羽西口先右側高架下

172.6

81.2 赤羽団地

階段を上がる（トンネル内車専用.通行不可）→赤羽台団地→諏

訪神社→

北赤羽駅→浮間舟渡駅

177.2

85.8 舟渡大橋

→市場通

志村橋保育園前交差点を直進→舟渡大橋（北）左折。

左側公園内トイレ有。→舟渡大橋のすぐ先の交差点（高島平9丁

目）を右折

178.5

87.1 高島平【なか卯】

市場通

高島平店：左側（コース上最後の【なか卯】です）

179.5

88.1 ローソンのある交差点

右折→50m先右側にローソン（秋ヶ瀬エイドまで最後のコンビニ）→

新河岸川を渡り、

荒川土手に上る。

180.8

89.4 笹目橋

荒川河川敷

笹目橋（180.8）→幸魂（サヌ）大橋（182.9）→朝霞水門

（183.7）→

JR 武蔵野線(186)→秋ヶ瀬橋（186.9）→秋ヶ瀬エイド（189.2）

秋ヶ瀬エイド

189.2

97.9 秋ヶ瀬エイド

エイド：18:00まで。右側にテニスコートが見えたら土手に上ること。

エイドは土手の左下。志木秋ヶ瀬スポーツセンター脇→川

越へは羽根倉橋で信号(浦所バイパス)を渡り左折

190.9

99.5 下南畑

R254 川越バypass

羽根倉橋から2つ目の信号を右折。川越方面へ（川越バイパス）

R254 川越バypass

→鶴間（193）→渋井（196.5）→JR川越線（199.8）

201.5

110.1 小仙波(中)

R254 川越バypass

川越警察署入口交差点から右側脇道へ→小仙波(中)→高架下を直進、

くぐり抜け右折→ホテルシャイン脇→小仙波

201.9

110.6 小仙波

R16

小仙波：歩道橋の先の大通り左折→川越市街（喜多院）へ

203.1

111.7 松江町

松江町(交)直進→連雀町交差点右折 100m先信号を左折するとゴール

203.5

112.1

蓮馨寺

ゴール

このようなウルトラマラソンは、沿道で応援する人たちのドラマも実はあります。

それが私設エイドという存在。

主催者がコース各所に設置しているエイドとは別に、

自主的にエイドを作り、ランナーたちに差し入れを行っているのです。

純粋にランナーを応援したい、

あるいは、自らもマラソンを走り、同じランナーたちを応援しようという人たちがいて、

小江戸大江戸 200k でも、数ヶ所で私設エイドが見られた。

その一つがあったのが、203k まであともう少しという 201.5k 地点、川

越の小仙波交差点でした。



3月1日午後3時過ぎ、254号線から細い道を左折して県道川越日高線へ入っていく途中の箇所、

ちょうど目の前にかっぱ寿司が見え、右に武蔵貨物が見えるという場所に車を止め、

テールゲートを上げ貼り紙を掲げて私設エイドを設置し、ランナーたちを待ち構えていた。

雨が降りしきる中、冷えているだろうランナーのために、温かい飲み物を用意して遠くにその姿を見つけようと目を凝らしていた。この時間は、大江戸のタイムリミットまでもう少しという佳境で、小江戸大江戸のランナーはまだこれからというところだった。ランナーたちは既にかなりバラけて、一人と一人の間隔がだいぶ空けてやって来ていた。

つまり一人旅で黙々と歩を進めているような状態。

ここに私設エイドを構えたのは、

広々とした道だと左右どちらの道からランナーがやって来るのか分からないからで、

全てのランナーが通る細道を選んだのだという。



遠くにカッパを着こんだランナーがこちらに向かって走ってくるのが見えた。
 ランナーに向かって両手を広げて声を送る
 「こっちです！お疲れ様です！温かい飲み物ありませーす！」
 声に気づいたランナーは車に立ち寄り、震える手で差し出されたカップを受け取った。
 「日中の荒川の風が強くて辛かった。それに午後のこの雨」
 私設エイドを目にしたランナーが次々に立ち止まる。



「ミルクココアください」
 「美味しい！」
 「温まりました。ありがとうございます」
 「ありがたいなあ」
 「生き返ります」
 「ご馳走さまでした！」
 冷えきった体が生き返る。
 力が入らないながらも、声を振り絞るようにして感謝を伝えるランナーた

ちだった。



って踏み出していった。



まだまだ体力は残っていると話すランナーたちも、夜の睡魔との闘いはキツかったと振り返っていた。

「(大江戸ナイトランの行き)夜の2時頃、朝霞辺りで猛烈な睡魔に襲われました。

単調な道が続くと、どうしてもそうなりますね」

ここまで来ると、体のあちこちに痛みが出始め、かばいながら走るランナーが多くなる。

「17時までには間に合うかな」

大江戸ナイトランの制限時間は17時、

「間に合いますよ！あとはそこを曲がっていただけです。残りの2k楽しんでください」

その後押しすると、ランナーたちは最後の2kを走りきるため、力を振り絞



そして、ここから2k先のゴール地点の蓮馨寺。

山門前に立って通りの先を見つめている人がいた。

「仲間があと一人帰ってこない」

小江戸大江戸に参加した一人がそろそろゴールしてもいい時間だが、その姿はまだ見つけれられないのだという。

傘を差しながら帰りを待ち続ける人がいた。

このゴール地点には、まさに数多くの劇的なドラマが待ち構えていた。

そう、思えばこのわずか一日という時間の中には、

ランナー一人一人に凝縮された長大なドラマがあったはずで、抱えた全ての感情の爆発がゴール地点に溢れていた。

雨が降りしきる中央通りを傘を差して歩く人々、傘と傘の合間から、まさかその人がそんなランナーだとは露知らず目をやり、走ってくる姿が垣間見える。ランナーたちが川越に帰ってきていた。

ついにゴールしたのだ。

大江戸ナイトラン、小江戸大江戸のランナーが入り交じって蓮馨寺のゴールにたどり着いていた。



講堂内に駆け込んでくるランナー、
主催スタッフ、ボランティアスタッフが「お帰り！！」「お疲れ様でした！」
と拍手で迎える。
「よく帰ってきたなあ！！」
待ち構えている人の笑顔が弾ける。



一人一人のランナーの帰還にあった。

「おめでとう！！」

「よかった、よかった、本当によかった。よく無事に帰ってきたなあ。。」

「ダメじゃないかと思ったんだ。本当によかった」

走る人も涙、待つ人も涙涙だった。



また一人、無事に蓮馨寺に帰ってきた。

「やっと着いた。。。！」

「おお！ やりましたね！」

講堂内はランナーたちの帰ってきた安堵、達成感の聲に迎える人の声、みんなの聲が上ずり充滿していた。

中には、いつもエイドで応援している方がこの日はランナーとして走り、いつもはランナーとして走っている人がこの日は講堂内でスタッフとして待ち構え、

逆転した立場に感慨に浸る二人の場面があった。

呆然とした状態から徐々に冷静さを取り戻し道程を振り返るランナーたちは、

「夜の都内の風景が綺麗だった」

「28日は走りやすかった。それが1日の午後の雨で体力奪われた」

ランナーは全身精も根も尽きた消耗度で椅子に座り込む。
スタッフから温かい飲み物を渡され、真っ赤にした手でカップを受け取る。

「おお！ 帰ってきた！！」「お帰りなさい！！」

一人が帰ってくるごとに講堂内は拍手に包まれていた。

マラソンで言うゴールした、という以上に、よく帰ってきた、という感覚が強いウルトラマラソン。

昨日の朝会ったばかりなのに、一日しか経っていないはずなのに、まるで思い焦がれた数年来の友人と再開できたようなドラマが、

寒さで体が動かなくなり、途中で諦めようかと何度も何度も自問自答し続けながら、前に進んできたという。そして、私設エイドや沿道の応援が嬉しかったと話していた。ゴールすると、都内のチェックポイント、都庁、六本木、浅草寺、東京タワーで撮影した画像をスタッフに見せるランナーたち。



「あと、3分だ。。。」

スタッフが時計の針に目をやりながら呟く。大江戸ナイトランのゴールのタイムリミットまであと残り3分という時間になっていた。ゴール付近に集まるスタッフ。ランナーたちはもちろん走りながら時間は気にしているはず。そして、なんとしてもタイムリミットまでにゴールしたいと懸命に気力を振り絞っている。1秒が長く感じられる17時前、集団となったランナーたちがドドドド！

と続々と講堂内に駆け込んでくる。



「来た！来た！」

「やったあ！間に合った！！」

声を上げ喜ぶランナーたち。

「おめでとうございます！！」

スタッフからしたら、毎回のように参加するランナーは顔見知りで、

「あの人は帰ってきた。あの人はまだ帰ってきていない」

ハラハラ心配しながら、外を見つめている。

走るのはランナーだが、気持ちとして共に走っていて、それは競走ではなく、共走なのだという。

競って走るのではなく、共に走って苦楽を共にしましょう、と。

そしてウルトラマラソンと一緒に走り始めたとしても一緒にゴールできるわけではない、

「ダメだ、先に行ってくれ」

「いやもう少し頑張ろう」

途中で離れていき、バラバラになったとしても、

別の人と励まし合い、共に走ろうと前に進むことだってある。

一人のドラマが誰かのドラマと繋がり、

旅のような道程の中には出会いと別離が詰まっている。

小江戸大江戸 200k には、人生の真髄がギュッと詰まっているようだった。

その後は小江戸大江戸のランナーたちが次々と蓮馨寺に帰ってきた。

ランナーたちのドラマはこの後も続いていきました。



第5回「小江戸大江戸 200k」、年々参加者が多くなり、広く知られるようになってきた大会。

川越にイベントはたくさんあれど、全国から人が集まるものは数少ない。

貴重で熱いウルトラマラソンです。

来年はどんなドラマがあるでしょうか。

沿道でランナーを見かけたら応援よろしくお願いします。

「ただいま」

「よかった。お帰りなさい」



※ 本稿は著者 SHIN さんのご厚意のもと、ブログ「川越 style」に3月5日に掲載された第5回小江戸大江戸 200kの大会記事を抜粋したものです。